

特色ある私学の授業

東京・井の頭公園近くに立地する明星学園中学校は、どの教科も、教員が一方的に教えるのではなく、生徒が自分の頭で考えて探究する授業に取り組んでいることで知られている。その伝統をベースに、2018年度から新しい教科『総合探究科』を導入した。その狙いと、具体的な取り組み内容について、堀内雅人副校長に話を聞いた。

3年間の積み上げで卒業研究の執筆へ

『総合探究科』は、中学1年から3年の各学年に開設される4つの科目からなる新しい教科だ。狙いは「自分の頭で考え、自ら進む道をつかみとるための力を身につける」ことにある。

『総合探究科』は、この卒業論文執筆を、3年間の体系的な授業として組み立てた教科ということになる。創設の背景を、堀内副校長は次のように説明する。「論文を書くには、参考文献の探し方や、引用の仕方などを教える必要がありますが、その指導は個々の教員に任せられ、生徒間で共有することもありませんでした。執筆に必要な指導を授業化することで、全員の共通理解が深まり、より深い探究活動が可能になるのではないかと考えました」

「総合探究科」は、この卒業論文執筆を、3年間の体系的な授業として組み立てた教科ということになる。創設の背景を、堀内副校長は次のように説明する。「論文を書くには、参考文献の探し方や、引用の仕方などを教える必要がありますが、その指導は個々の教員に任せられ、生徒間で共有することもありませんでした。執筆に必要な指導を授業化することで、全員の共通理解が深まり、より深い探究活動が可能になるのではないかと考えました」

「総合探究科」は、この卒業論文執筆を、3年間の体系的な授業として組み立てた教科ということになる。創設の背景を、堀内副校長は次のように説明する。「論文を書くには、参考文献の探し方や、引用の仕方などを教える必要がありますが、その指導は個々の教員に任せられ、生徒間で共有することもありませんでした。執筆に必要な指導を授業化することで、全員の共通理解が深まり、より深い探究活動が可能になるのではないかと考えました」

哲学対話から卒業研究へ「総合探究科」がスタート。教科を超えて、自ら探究し、発表する。



副校長 堀内 雅人 先生

くまで、知の世界へのアクセス方法を学ぶことにあります」（堀内副校長）

年度は、中1で学ぶ内容も組み込みながら、試行錯誤を続けたが、19年度からは、卒業研究につながるような授業内容に切り替えていく。

全教員が指導にあたり卒業研究を執筆発表

卒業研究のテーマは、中3の春頃に決まり、同時に指導を受ける教員も決まる。卒業研究は、単に本を読んでまとめるだけではなく、専門家に話を聞いたり、実験を行ったりと、実践を伴うことが求められる。

そのための「卒業研究」の授業の中で、研究の

「総合探究科」3年間の流れ

1年次 授業: 哲学対話 相手の意見を聴く力や他者と対話しながら共通の価値を探り出していく力を養う。 授業: 図書館と情報 情報の扱い方や調べ方から、発信の方法などを学習する。

2年次 授業: 探究実践 1年次の内容をさらに深めながら、身近なテーマを共同で探究し、具体的な研究手順を学習する。

3年次 授業: 卒業研究 自らテーマを決定して、それを探究していく過程を研究論文としてまとめる。発表会では研究論文を元にプレゼンテーションを行う。

卒業研究のプレゼンテーションの様子



中学3年間の努力の成果「卒業論文」



天気の良い日近くの井の頭公園で行う「哲学対話」の授業

「哲学対話」を通して正解のない問いに向き合う

同時に、中1と中2にも「総合探究科」の授業を組み込んだ。中1は、「哲学対話」と図書館と情報週1時間ずつ、中2は、週2時間の「探究実践」だ。「哲学対話」は、「お金で全てが解決できるか」「車が通って

いけない道路を赤信号で渡つていかなど、絶対的な正解がないようなテーマについて対話を行う授業だ。ルールは「何を言ってもいい」「否定的なことは言わない」の2つだけ。「対話は、勝ち負けではなく、相手を尊重し、相手の意見を通して、自分の考えを深化させていくものです。ですからディベートとは決定的に違います」

「総合探究科」は、本校の探究型授業の長い伝統の上に積み重ねられてきた。本校の探究型授業の長い伝統の上に積み重ねられてきた。本校の探究型授業の長い伝統の上に積み重ねられてきた。

「総合探究科」は、本校の探究型授業の長い伝統の上に積み重ねられてきた。

授業は、哲学対話の指導経験を持つ3人の教員が担当している。1クラスを10人程度のグループに分け、それぞれのテーマで対話を重ねていくが、その中から新たなテーマが生まれることもある。天気の良い日は近くの井の頭公園で対話を行うこともあり、生き生きとした授業が展開されている。

卒業研究インタビュー

総合探究科の授業を受けて

高校でも探究活動を続けたい。

【論文テーマ】なぜペットボトル入りのビールは見かけないのか？

仲尾 名菜希さん



中学2年のときに、ある漫画を通してビールに魅せられ、ビールをテーマに研究することを考えました。事前にいろいろ調べている途中で、ふと、なぜペットボトル入りのビールが売られていないのか疑問に思い、ズバリ「ペットボトル入りビールはなぜ、見かけないのか？」をテーマに、卒業論文を書くことにしました。

つないでもらい、メールでやりとりするのですが、質問項目の作り方や、敬語の使い方などでけっこう苦労したことを覚えています。結局、ビール用のペットボトルをつくる技術はあるものの、それが多くの企業に浸透していないことや、環境問題などへの懸念から消費者の需要があまりないことが主たる原因で、ペットボトル入りビールが製造されず、まったく見かけないことがわかりました。

将来は社会に役立つ研究をしたい。

【論文テーマ】クワガタの嗅覚の研究

奥村 哲僊さん



クワガタムシを60頭ほど飼育しています。ですから、卒業論文でも昆虫に関する記事を書こうと思っていましたが、どんなテーマにすればいいのか、最後まで決めかねていました。 蛾の嗅覚がすごいと聞いていたため、研究者情報を調べたところ、東京大学先端科学技術センターで研究していることがわかりました。先生がコンタクトをとってくれ、夏休みに訪問することができました。

クワガタムシの交尾行動の観察や、餌まで到達する時間、メスとオスを近づけた場合の行動観察など、いくつかの実験を含む「クワガタムシの嗅覚の研究」をすることにしました。 最終的に、クワガタムシの嗅覚は鋭くないことがわかり、生息環境からその理由を考察したのですが、害虫ではないクワガタムシの研究論文は少なく、情報収集はとても大変でした。

明星学園中学校 Myojo Gakuen Junior High School



〒181-0001 東京都三鷹市井の頭5-7-7 TEL.0422-43-2196 FAX.0422-43-6650

アクセス ●JR「吉祥寺駅」から徒歩約15分 ●京王井の頭線「井の頭公園駅」から徒歩約10分

学校説明会・体験入学等はWEBよりお申し込みください。 https://www.myojogakuen.ed.jp

